

化石研 ニュース

133 2018/10/17

編集・発行：化石研究会事務局

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1
群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付

化石研究会 第150回例会 (鹿児島大学理学部・鹿児島県立博物館) プログラム

来る11月10～11日に鹿児島で開催する第150回例会のプログラムが確定しましたのでお知らせいたします。なお、今回の例会では宿泊の斡旋はありません。各自でご予約をお願いいたします。

- 期日：2018（平成30）年11月10日（土）～11日（日）
- 会場：鹿児島大学理学部（11/10）・鹿児島県立博物館（11/11）
- 全体の日程など：

11月10日（土）13時30分～17時（シンポジウム）

・シンポジウム

「3次元データとその解析に関する研究の最前線」

講演内容・タイムテーブルは2ページをご覧ください。

シンポジウム会場：鹿児島大学理学部1号館1階101講義室（鹿児島市郡元1-21-35）

（市電2系統「唐湊（とそ）」から徒歩5分）

※ 3ページに大学構内地図があります。

・懇親会（18時～20時）

会場：鹿児島大学生活協同組合「ガロア」 ※申込方法等は3ページをご覧ください。

11月11日（日）午前

・鹿児島県立博物館の見学（詳細については4ページをご覧ください）

見学先：鹿児島県立博物館（鹿児島市城山町1番1号、電話099-223-6050、入場無料）

（市電1系統・2系統「天文館通」から徒歩7分）

シンポジウム

「3次元データとその解析

に関する研究の最前線」

13:30~13:40 趣旨説明 (仲谷英夫：鹿児島大学)

13:40~14:10 講演1「哺乳類頬歯からの食性復元」

(山田英佑：山梨県立博物館)

近年、歯の表面に残された微細な摩耗痕がもつ、高低差の大きさなどの三次元形態情報を利用した食性復元法が提唱された。今回は、歯を用いた食性復元の研究史を振り返るとともに、この新手法によって生態が既知の現生動物から得られた知見を化石資料に応用した研究の成果を報告する。

14:10~14:40 講演2「オナガザルの咬耗正面から顎運動を復元する

—化石資料への利用可能性を考える」(清水大輔：中部学院大学)

歯列や骨格から顎運動が再現できれば、化石資料にも応用が可能になり、絶滅動物の顎運動という新しい知見が得られる。Phase I 咬耗小面は咀嚼時に歯と歯が接することにより形成されるため、顎運動が反映されている。本研究では大白歯に形成された Phase I 咬耗小面から顎運動の方向を推定する。その為に京都大学霊長類研究所所蔵のアカコロブス(n=6)とサバンナモンキー(n=6)を用い、隣り合う咬耗小面の交線を用いて Phase I 時の顎運動方向の推定を行った。その結果、Phase I 時の顎運動方向に種間差がみとめられた。本発表では、現生霊長類を用いて、遊離した歯から推定した場合の誤差について検証し、化石資料への適応の可能性を検討したので、あわせて報告する。

14:40~15:10 講演3「マクロ形態の発生：ヒトと大型類人猿の長骨形態とロコモーション」

(森本直記：京都大学)

ヒトに特有の形質の進化を明らかにするひとつの手がかりが、近縁種であるチンパンジーやゴリラといった大型類人猿との比較である。ヒトと大型類人猿とにおける形態変異は、進化過程における発生プログラムの改変によって生じたと考えられる。本発表では、歩行機能の要のひとつである大腿骨のマクロ形態の発生パターンを中心に、ヒト上科における移動様式の進化との関連を議論したい。

<15:10~15:30 休憩>

15:30~16:00 講演4「恐竜足跡研究と3D技術」

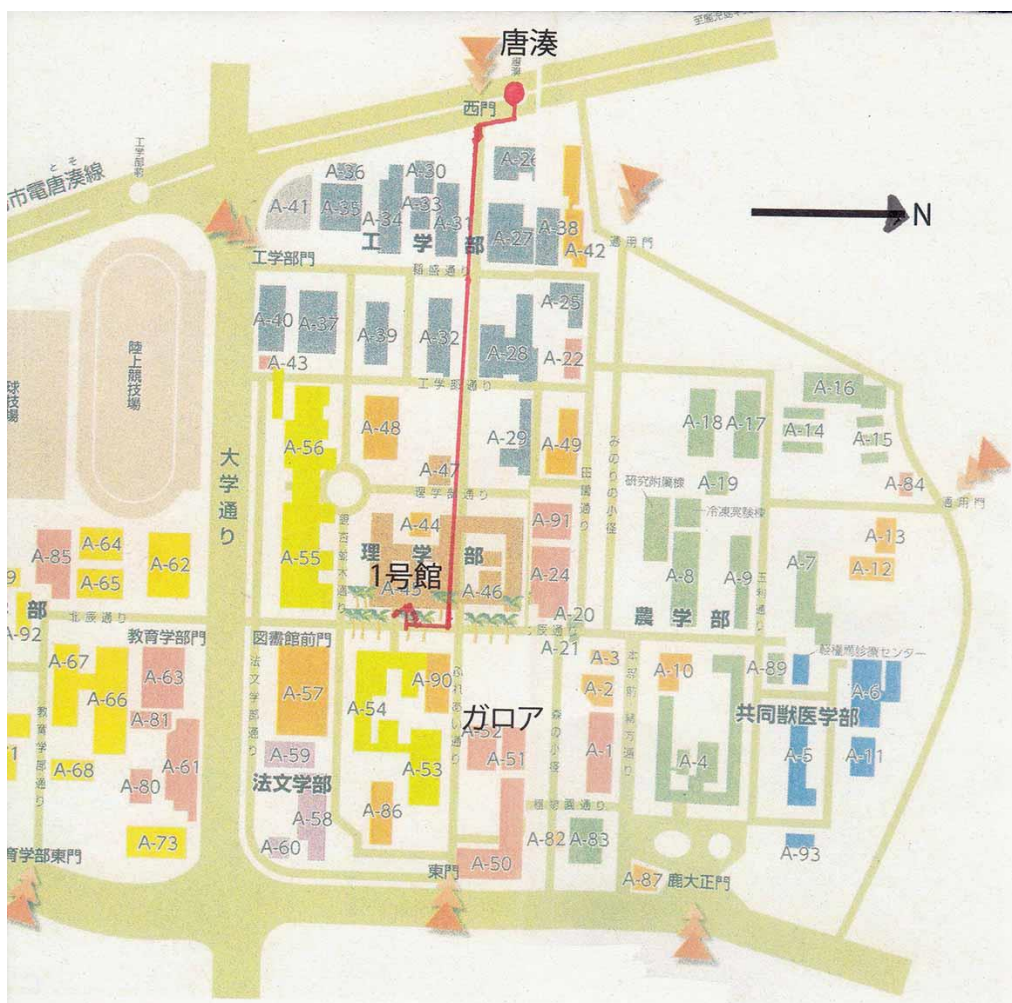
(石垣 忍：岡山理科大学)

足跡のくぼみと地層面との境界決定法は主観的であり、研究者によって判断が異なる。また変形を伴う足跡の分類は常にあいまいさを伴う。近年、これら問題点の改善をはかり、より正確で客観的なデータ取得を目指して、3D技術を足跡化石研究に導入することが増えている。また Photoscan®や3Dプリンタにより、容易にレプリカ標本の作製が可能になった。これら3Dの新技术が足跡研究にもたらしたものとその課題を概観する。

16:00~16:30 講演5「恐竜および長鼻類骨格の3D復元」(三枝春生：兵庫県立人と自然の博物館)

三重県産の長鼻類ミエゾウおよび兵庫県産の恐竜タンパティタニスの部分骨格化石をもとに、3Dモデリングの技法を用いて3D復元骨格モデルを作成し、この3Dモデルを3Dプリンタで打ち出すことにより実物大復元骨格を作成した。その制作過程、復元の根拠、普及教育および地域振興における効果について紹介し、さらにこのようなモデル作成に果たして科学的な意義があるのかどうかについても論じる。

16:30~17:00 総合討論



鹿児島大学 郡元キャンパス構内地図
 (例会会場は理学部1号館1階101講義室)

懇親会

- ・日時：11月10日(土) 18:00~20:00
- ・会場：鹿児島大学生活協同組合「ガロア」(場所は上図を参照してください)
- ・会費：¥5000(税込み)

「事前申込み」です(締切11/2)

申し込みは、電子メールもしくはFAXで石田吉明会員まで。

石田吉明会員メールアドレス：y-ishida@msi.biglobe.ne.jp

FAX：03-6915-1211(まちがい電話にご注意ください)

運営委員会 (役員等関係者はご出席ください)

- ・日 時 : 11月10日(土) 11:30~13:00
- ・会 場 : 鹿児島大学理学部1号館3階 客員教員室 (334号室)

鹿児島県立博物館見学

日時 : 11月11日(日) 午前

本館 (鹿児島市城山町1-1)

- ★「鹿児島の人々と自然のつきあい方」
(本館3階)
 - ・今年4月リニューアル
 - ・獅子島産長頸竜をはじめとする化石の展示
- ★蔵出し博物館「奄美大島・徳之島の自然」
(本館1階)

別館 (鹿児島市山下町5-3 宝山ホール)

- ★「化石展示室」
(別館4階)
 - ・恐竜及び北アメリカ産古第三紀哺乳類や
カメ化石



画像は2点とも鹿児島県立博物館 Webpage より。

>>> 事務局だより <<<

- 多くの会員の皆さまに、会費を納入いただきました。どうもありがとうございます。
未入金の方の皆さまも納入をよろしくお願いいたします。

編集・発行 : 化石研究会事務局

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩 1674-1 群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付

TEL: 0274-60-1200 / FAX: 0274-60-1250 / E-mail: BXJ04105@nifty.ne.jp

ホームページ <http://kasekiken.jp/>

郵便振替口座 記号番号 00100-7-633288

名 称 化石研究会 (カセキケンキュウカイ)

年 会 費 一般 4000 円 (学生 2000 円)

この化石研ニュースは、上記の化石研究会のホームページではカラーで見ることができます。

現在、印刷版のニュースが郵送されている方の中で、郵送しなくても良い方は是非ご連絡ください。